

2024年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2024年12月20日（金）14時45分～15時20分
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局局長（DX担当）、企画調整局副局長、企画調整局デジタル戦略部長、企画調整局政策課長、企画調整局調整課課長（スマートシティ担当）、地域協働局副局長、行財政局長、行財政局副局長、福祉局介護保険課長、福祉局国保年金医療課長
議題	「データ・デジタル先進都市」の実現
提案概要	<p>○EBPM・DXを通じた「データ・デジタル先進都市」の実現のために、以下の方向性及び具体的な取組項目を提案し、議論を行った。</p> <p><方向性></p> <p>① 市役所業務でのデータ・デジタルの活用の徹底 国・他都市から注目されている神戸市の庁内のデータ・デジタルの取り組みを徹底し着実に成果を積み重ねる。</p> <p>② 市役所内部に留まらないデータ・デジタルの民間への波及 神戸市の強みであるEBPM・DX分野での実績を活かし、市役所内部に留まらず発展させる。</p> <p>③ 求心力の強化を通じた国の政策への反映 データ・デジタル分野でのブランド力を向上させることで、神戸市と連携して事業を行いたい企業や行政機関が増加する。それによって、神戸市がアジェンダ設定することで国の政策への反映へと繋げる。</p> <p><取組項目></p> <p>① EBPM・データ利活用</p> <ul style="list-style-type: none">・システム標準化に伴うデータ利活用環境の強化のほか、政策立案に活用するための学術論文調査、内部人材の育成と外部人材の活用などを進める。・市役所内部に留まらない、民間企業と連携したEBPMの取組を進める。

	<p>② フロントヤード・バックヤード改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政手続きのバックヤード業務には多くの工数がかかっていることから、デジタルによる処理の自動化・効率化に取り組む。 ・令和7年度は方法や効果の検証を行い、効果が見込める取組は令和8年度以降に導入を進める。 <p>③ スマート区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「住民異動に関する手続きの改善」をテーマとして、書かない窓口システムに限定しない市民・職員の入力作業負担の改善や、住民異動窓口のあり方等の検討を進める。 ・保険年金医療課業務のバックヤード業務集約化など、これまでの取組については、職員アンケートやヒアリング等の結果を踏まえながら、各本庁所管課と区窓口課で継続実施する。 <p>④ ブランディング戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神戸市の先進的な取り組みを全国の自治体職員向けに発信することで、他自治体と繋がりを構築し、国の政策への反映につなげる。
<p>会議結果 (主な意見等を含む)</p>	<p>全体の方向性については了。</p> <p>○EBPM・DXを通じた「データ・デジタル先進都市」の実現のために必要な取り組みについて、局からの提案をもとに議論を行った。</p> <p>○今後の実施、検討にあたっては、下記の点に留意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXの取組については、現場の実態も把握しながら進めること。 ・保険年金医療課業務のバックヤード集約については、これまでの集約による効果を示したうえで、対象業務の拡大を検討すること。 ・住民異動窓口のあり方等の検討については、国の補助金の活用も検討すること。 ・国に要望すべき内容については、指定都市市長会を通じたの要望も検討すること。